



第29回

横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレース 【帆 走 指 示 書】

横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレース実行委員会

〒236-0007 横浜市金沢区白帆1番地 横浜ベイサイドマリーナ内

TEL 045-776-7599 FAX 045-776-7591

E-mail ybm-oyr@ybmarina.com

29th Yokohama Bayside Marina Open Yacht Race

第29回横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレース

【帆走指示書】

1. 適用規則

レース公示に記載の通り

2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部（横浜ベイサイドマリーナセンターハウス）前に設置される
公式掲示板および YBM オープンヨットレース公式サイトに掲示・掲載する。

なお、レース当日の公式サイトへの掲載は行わない。

YBM オープンヨットレース公式サイト <https://ybmojr.com>

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、公式掲示板および YBM オープンヨットレース公式サイトに掲示・掲載
する。

4. 出艇申告、帰着申告、変更・棄権等

①出艇申告は出艇申告書を10月17日（土）07:00～08:00までに提出する。

（大会本部へ持参もしくはEメールまたはFAXにて提出）

②IRCクラスは、フィニッシュ後「クラス旗」を大会本部に返却したことをもって帰着申告とする。

③オープンクラスは、フィニッシュ後「クラス旗」と「ペナントナンバー」を合わせて大会本部に
返却したことをもって帰着申告とする。

④レース不参加の場合は、電話にて大会本部（045-776-7599）へ10月17（土）午前9時
までに通知しなければならない。

また、レース海面にてレースを途中棄権する場合は、必ず最寄の運営船にその旨を通知し、
帰港後は速やかに大会本部へ通知し、帰着申告を行わなければならない。

5. 陸上信号

①陸上信号は、大会本部前のフラッグポールに掲げる。

②レース当日の天候等の状況によって、レースが延期及び中止される場合も陸上本部前の
フラッグポールに指示される。

③AP旗が掲げられた場合は、「スタートは延期された。予告信号はAP旗降下後60分以降に
発せられる」ことを意味する。

④横浜ベイサイドマリーナ以外から出港の競技艇は大会本部に確認することを推奨する。

6. レースの予定

2026年10月17日(土)

- 10:55 IRCクラス スタート予告信号(スタート予定時刻11:00)
- 11:00 オープンクラスA・B スタート予告信号(スタート予定時刻11:05)
- 11:05 オープンクラスC・D スタート予告信号(スタート予定時刻11:10)
- 15:00 全クラス タイムリミット
- 17:00 表彰パーティー、成績発表

7. レース艇の識別

参加艇は「クラス旗」を掲示しなければならない。

- IRCクラス……………YBM 三角旗
- オープンクラスA……………グリーン旗
- オープンクラスB……………ホワイト旗
- オープンクラスC……………ピンク旗
- オープンクラスD……………イエロー旗

- ①それぞれのクラスの「クラス旗」とオープンクラス識別用の「ペナントナンバー」は、10月10日(土)の艇長会議にて各参加艇に配付する。
- ②参加艇は決められた「クラス旗」をバックステイのデッキ面より1.5m以上、上方の目立つ位置に掲げなければならない。
- ③オープンクラス艇は「ペナントナンバー」をマストより前のライフラインに沿って、スターボードサイド、ポートサイドの両側にはっきり識別できるよう取り付けなければならない。ただし、船の構造上、マストより前に取り付けできない場合は、ペナントナンバーを識別できる位置に取り付けること。これを怠った場合は順位がつかない場合がある。
- ④参加艇は「クラス旗」と「ペナントナンバー」(オープンクラスのみ)をレース終了後1時間以内に大会本部に返却しなければならない。これを怠った場合は失格となる場合もある。尚、外来艇で直接帰港するなどの場合には、必ず大会本部に返却方法を伝えなければならない。「クラス旗」紛失の場合は500円、「ペナントナンバー」紛失の場合は1枚6,000円をレース委員会に支払うものとする。

8. レースエリア(別紙参照)

横浜ベイサイドマリーナ沖から八景沖にかけての水域とする。

9. レースコース(別紙参照)

①IRCクラス、オープンクラスA・B コース

スタート → マーク1 → マーク2 → マーク3 → マーク1 → マーク2 →
→ マーク3 → フィニッシュ

ピンク色の円柱型マークと本部船との間をフィニッシュラインとする。

②オープンクラス C・D コース

スタート → マーク1 → マーク2 → マーク3 → フィニッシュ

ピンク色の円柱型マークと本部船との間をフィニッシュラインとする。

③マーク1・2・3は全クラス共用とし、ポートサイドに見て回航する。

④最初のスタート予告信号前に、本部船後部にて、マーク1へのおおよその距離とコンパス方位を掲示する。

10. マーク

①マーク1、2、3はオレンジ色三角すい型のインフレータブル式(高さ1.2m)を使用する。

※マーク1のみ、数字を表示する

②アウターマークは黄色複合型のインフレータブル式(高さ3.5m)を使用する。

③フィニッシュマークはピンク色円柱型のインフレータブル式(高さ1.8m)を使用する。



11. スタート

①スタート方法は、RRS26に従って行う。

②予告信号旗 ●IRCクラス……………YBM 三角旗

●オープンクラスA、B……グリーン旗、ホワイト旗

●オープンクラスC、D……ピンク旗、イエロー旗

③スタートラインは、本部船のオレンジ旗を掲揚したポールと黄色複合型インフレータブル式マークの間とし、適用するコースの最初のマークに対して、おおよそ直角に設定される。

④全クラスはスタート信号後、5分以内にスタートしなければならない。これに従わなかった艇は審問無しにDNSと記録される。

12. リコール

リコールについては、RRS29に従って行われる。また、いずれかのクラスのスタートがゼネラルリコールとなった場合、以降のスタートは、本帆走指示書(6.レースの予定)における時間差を継続して順次繰り下げて行う。

13. 運営船

全ての運営船には大会旗を掲げる。

14. スタート前のコース短縮

IRCクラス、オープンクラスA・B のスタート予告信号前に、本部船にS旗が掲揚された場合、IRCクラス、オープンクラスA・B のコースは下記の通りとする。

スタート → マーク1 → マーク2 → マーク3 → フィニッシュ

ピンク色の円柱型マークと本部船 との間をフィニッシュラインとする。

15. スタート後のコース短縮

スタート後のコースの短縮は、RRS32に従って行われる。

※スタート後にコースの短縮を行った場合、運営船のS旗を掲揚したポールと最寄りの回航マークとの間をフィニッシュラインとする。

なお、クラス別の場合は当該クラスのクラス旗を運営船に掲げる。

16. スタート後のコース変更

スタート後のコース変更は行わない。

17. フィニッシュ

全クラスのフィニッシュは、本部船または運営船のブルー旗を掲揚したポール とピンク色の円柱型マークとの間とする。

18. レースの中止

海上においてレースを中止する場合は、本部船にて音響3声とN/A旗を掲揚し、各運営艇より口頭で告知する。なお、再レースは行なわない。

19. 失格に代わる罰則

レース中、RRS第2章の規則に違反した可能性のある艇は、RRS44. 2の2回転のペナルティを履行することにより失格を免れる。

20. タイムリミット

タイムリミットは、全クラス15時00分とする。15時00分までにフィニッシュしなかった艇はDNFとして記録される。これはRRS35を変更するものである。

21. 抗議

①抗議はレース本部にある抗議書に記入し、各クラスのレース終了後60分以内にレース本部へ提出しなければならない。

②抗議は、ほぼ受け付け順に審問される。

③抗議に関する通告は、審問の場所、時刻及び抗議の関係者を知らせるため、抗議締め切り後30分以内に公式掲示板へ掲示する。

22. レースの成立

各クラスにおいて、1 艇以上の正規フィニッシュ艇をもって成立とする。

23. 順位、賞

- ①IRCクラスの順位は、TCCに所要時間を掛けた修正時間に基づいて算出される。
- ②オープンクラスの順位は、横浜ベイサイドマリーナオープンヨットレースレーティングに基づいて算出される。
- ③算出された修正値が同じ場合、レーティング値の小さい方を上位とする。
- ④賞は、公示に示すとおり、各クラス1位、2位、3位、とび賞など多数を用意する。

24. 特別規定（SP、DP）

（SP）レース委員会がプロテスト委員会の審問を経ずして艇にペナルティを課せる規則。

（DP）プロテスト委員会がその裁量で失格より軽減できる規則。

本大会は以下の特別規定を設ける。

- ①出艇から着艇まで競技者はライフジャケットの着用を義務付ける。（DP）
- ②競技者は、レース中を問わず出港から帰港までの間、ゴミ、タバコの吸殻などを海上に投棄してはならない。（DP）
- ③レースエリアは運営船によって監視され、競技艇は一般船舶の航行による進路変更等の指示を受けた場合、速やかに従わなければならない。なお、この進路変更の指示にかかわる救済要求についてはこれを認めない。これは規則61(a)を変更している。
- ④（SP）本船航路内へは絶対に進入してはならない。もし進入が認められた場合、その艇にプロテスト委員会の審問を経ずして所要時間の10%のタイム・ペナルティを課す。
- ⑤競技者は、レースエリアへの行き来およびレース中を含め、他船舶等への見張りには十分に注意を払い、事故の無いように気を付けなければならない。レースエリア付近で十分に注意するポイントは以下の通りである。
 - 八景島沖生簀、福浦岸壁よりの海苔網、穴子の筒漁や蛸壺漁のブイなど
 - 根岸湾および八景島に出入りする船舶や漁労中の漁船や遊覧船など

★大会本部(陸上)

横浜ベイサイドマリーナ(株)センターハウス内

電話 045-776-7599 FAX 045-776-7591

E-mail ybm-oyr@ybmarina.com

※大会本部はレース当日の AM 7:00 から開設されます。

★本部船(海上)

船舶電話 090-3024-4777 （ベイサイドフロンティア号）

※本部艇電話は運営で使用される為、非常時以外は使用しないでください。

【参考資料 1】

クラス旗（YBM 旗、グリーン、ホワイト、ピンク、イエロー）

予告信号

スタート 5 分前に UP

〔音響 1 声〕

スタート時に DOWN

〔音響 1 声〕

YBM 旗



IRC

グリーン



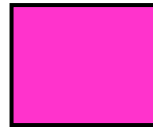
オープン A

ホワイト



オープン B

ピンク



オープン C

イエロー



オープン D

P 旗

準備信号

スタート 4 分前に UP

〔音響 1 声〕

スタート 1 分前に DOWN

〔長音 1 声〕



X 旗

リコール艇ありの時 UP

〔音響 1 声〕

解消後または 4 分後に DOWN

〔音響無し〕



第一代表旗

ゼネラルリコール時 UP

〔音響 2 声〕

再スタート 6 分前に DOWN

〔音響 1 声〕



【参考資料 2】

AP 旗（回答旗）

スタート延期

〔音響 2 声〕

スタート 6 分前にDOWN

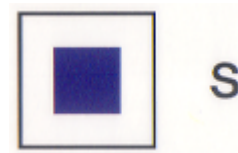
〔音響 1 声〕



S 旗

コース短縮指示

〔音響 2 声〕



M 旗

マークの代わりにこの旗を掲揚した艇を
マークとする

〔反復音響信号〕



L 旗

本部艇の声の届く範囲に集まれ

〔音響 1 声〕

（スタート 6 分前にDOWN）



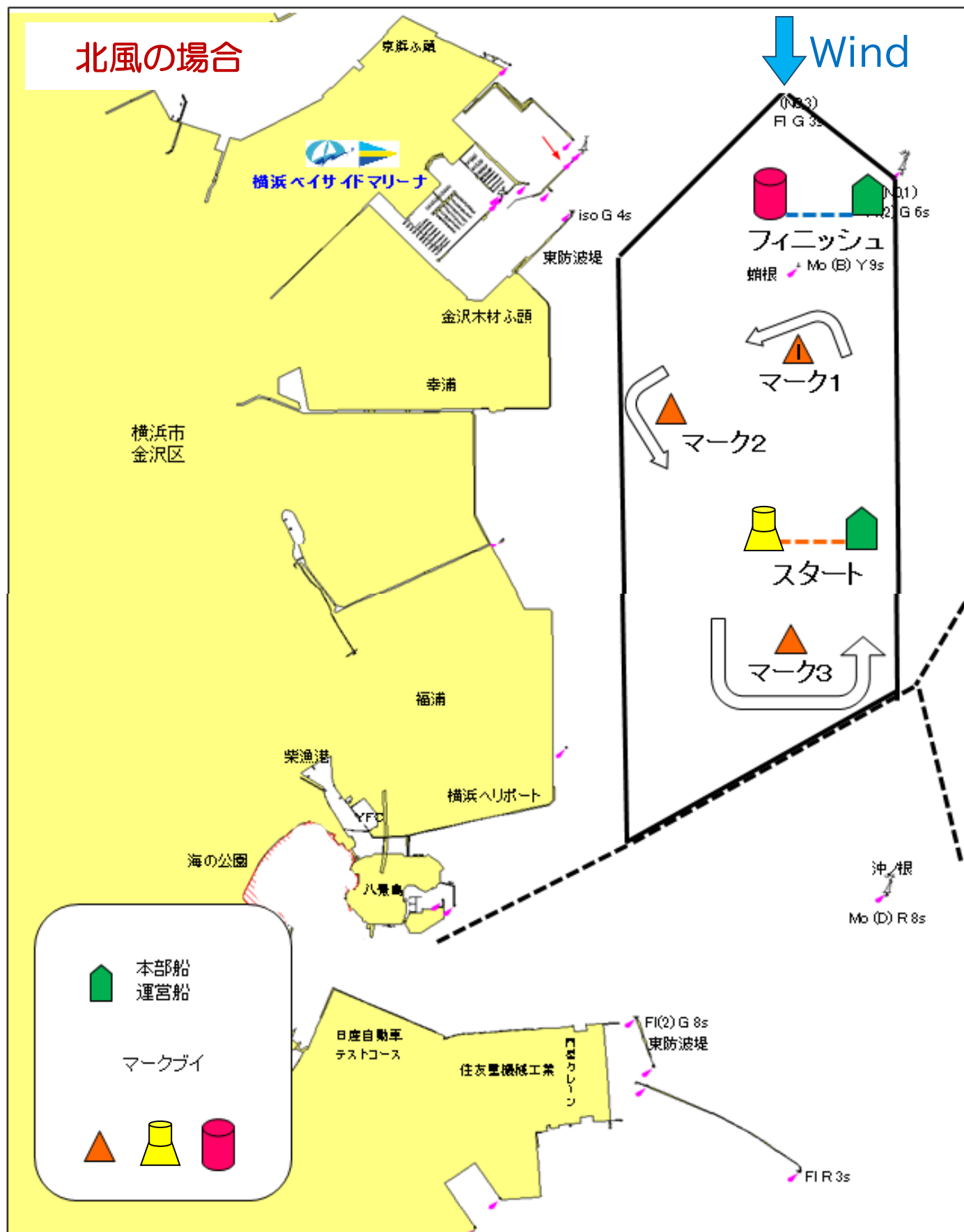
N/A 旗

すべてのレースを中止する

〔音響 3 声〕



第 29 回 横浜ベイサイドマリーナ オープンヨットレース コース図



※マークブイの位置は、当日の風向や風速により、上記位置と異なる場合があります。

IRCクラス、オープンクラスA・B : スタート → マーク1 → マーク2 → マーク3 →
マーク1 → マーク2 → マーク3 → フィニッシュ

オープンクラスC・D : スタート → マーク1 → マーク2 → マーク3 → フィニッシュ